

V 調査票

V 調査票

栃木県政世論調査

令和2（2020）年6月

【暮らしの変化について】

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

1 かなり良くなった	4 少し悪くなった
2 少し良くなった	5 かなり悪くなった
3 変わらない	6 わからない

（問1で選択肢「4」、「5」を選んだ方のみお答えください）

→ 問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

1 物価が上昇したため	6 医療費・介護費の出費が増えたため
2 不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため	7 冠婚葬祭費の出費が増えたため
3 教育費の出費が増えたため	8 事故・災害による出費が増えたため
4 家族構成の変化により出費が増えたため	9 その他
5 住宅の購入や増・改築、自動車などの出費が増えたため	()
	10 わからない

問2 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。

1 満足している	4 やや不満がある
2 まあ満足している	5 不満がある
3 どちらともいえない	6 わからない

問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1 良くなっていく	3 悪くなっていく
2 変わらない	4 わからない

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1 仕事（家事、学業）	9 家族との団らん
2 知識や教養	10 近所との付き合い
3 貯蓄	11 友人や知人との付き合い
4 趣味やスポーツ	12 子育てや子どもの教育
5 ボランティア活動	13 健康づくり
6 衣・食生活の充実	14 その他
7 住生活の改善、充実	()
8 環境にやさしいライフスタイル	15 わからない

[県政への要望について]

問5 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら、「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な “とちぎ”」をめざして様々な仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 学校教育の充実	20 雇用の安定と勤労者の福祉
2 青少年の健全育成	21 住宅・宅地対策
3 家庭教育の充実	22 資源エネルギー対策
4 社会教育の充実	23 下水道の整備
5 文化の振興	24 公園・緑地・河川の整備
6 スポーツ・レクリエーション施策の充実	25 公共交通ネットワークの整備
7 NPO・ボランティア活動の促進	26 道路の整備
8 広聴・広報の充実	27 地域情報化の推進
9 国際化の推進	28 防災対策
10 子育て・少子化対策	29 防犯対策
11 高齢者福祉対策	30 交通安全対策
12 心身障害者対策	31 消費生活対策
13 医療対策	32 自然保護・環境保全対策
14 保健対策	33 循環型社会の推進(リサイクル・廃棄物対策)
15 男女共同参画の推進	34 行財政改革
16 農林業の振興	35 “とちぎ”ブランド力の強化
17 食料の安定供給の確保・食の安全確保	36 その他
18 商工業の振興	()
19 観光の振興	37 わからない

[文化・芸術活動について]

問6 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動(鑑賞を含む)は、どのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 音楽、映画、演劇、舞踊、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動
2 生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動
3 地域の伝統芸能の保存・継承
4 文化遺産の保護・活用に関する活動
5 その他 ()
6 何も行っていない

[スポーツ活動について]

問7 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなど)、階段昇降(2アップ3ダウンなど)、ジョギング、水泳、体操(ラジオ体操、エアロビクスなど)、室内運動器具を使ってする運動、レクリエーションスポーツ(フライングディスク、スポーツチャンバラなど)、ゲートボール、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングのほか、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなどを含みます。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 週に3日以上(年151日以上) | 4 3か月に1~2日(年4~11日) |
| 2 週に1~2日(年51~150日) | 5 年に1~3日 |
| 3 月に1~3日(年12~50日) | 6 運動やスポーツを行わなかった |

[住んでいる地域について]

問8 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1 そう思う | 3 あまりそう思わない | 5 どちらともいえない |
| 2 ややそう思う | 4 そう思わない | |

[社会貢献活動について]

問9 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

- | |
|---|
| 1 参加し、今後も参加したい |
| 2 参加したが、今後参加するかどうかわからない |
| 3 参加したが、今後参加するつもりはない |
| 4 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい |
| 5 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない |
| 6 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない |
| 7 今まで参加したことはないが、今後参加したい |
| 8 今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない |
| 9 今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない |

[県政情報の入手方法について]

問10 あなたは、県の事業や催し、案内などの情報をどのような方法でお知りになりますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1 広報紙「とちぎ県民だより」 | 6 新聞 |
| 2 テレビ | 7 ポスターやチラシ |
| 3 ラジオ | 8 その他 |
| 4 県ホームページ | () |
| 5 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス) | 9 県の情報は知らない |

【栃木県への愛着と誇りについて】

問11 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1 とても愛着がある	4 あまり愛着がない
2 やや愛着がある	5 まったく愛着がない
3 どちらでもない	

(問11で選択肢「1」、「2」を選んだ方のみお答えください)

→ 問11-1 あなたが愛着を感じる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 地元の祭りや行事に参加したから
2 家庭や学校で地域の良さを教えられたから
3 郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから
4 他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから
5 住み慣れているから
6 人と人とのつながりを感じるから
7 環境や食事が自分に合っているから
8 テレビ番組や新聞で栃木県が取り上げられたから
9 県外の友人・知人から栃木県のことをほめられたから
10 県内の観光地を訪れたから
11 県の特産品を食べたり飲んだりしたから
12 栃木県出身の人が活躍した場面を見たから
13 その他 ()
14 特に理由がない、理由を考えたことがない

(問11で選択肢「4」、「5」を選んだ方のみお答えください)

→ 問11-2 あなたが愛着を感じない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 他県に誇れるものがないから	6 他県の出身だから
2 栃木県のことをあまり知らないから	7 その他
3 県ではなく市や町への愛着が強いから	()
4 生活が不便だから	8 特に理由がない、理由を考えたことがない
5 人と人とのつながりを感じられないから	

問12 あなたは、「VERY GOOD LOCAL とちぎ (ベリー グッド ローカル とちぎ)」(※) というキャッチフレーズを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 「VERY GOOD LOCAL とちぎ」とは、充実した都市機能とともに、豊かな自然、優れた歴史・文化、人と人とのつながりなど、「ローカル (地方)」の良さを兼ね備えた栃木県の魅力・実力を表現した、とちぎブランド推進のキャッチフレーズです。

1 知っている
2 聞いたことはあるが、意味は知らない
3 知らない

【第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の開催について】

問13 あなたは、2022年に「いちご一会とちぎ国体」及び「いちご一会とちぎ大会」が栃木県で開催されることを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | どちらも知っている |
| 2 | 「いちご一会とちぎ国体」だけ知っている |
| 3 | 「いちご一会とちぎ大会」だけ知っている |
| 4 | どちらも知らない |

(問13で選択肢「1」、「2」、「3」を選んだ方のみお答えください)

→問13-1 あなたは、両大会が栃木県で開催されることを、どのような広報手段で知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | | | |
|---|---|---|----------------|
| 1 | ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物 | 4 | イベント等での両大会PR活動 |
| 2 | ホームページ、インターネット、SNS
(ソーシャルネットワーキングサービス) | 5 | 県や市町の広報誌や回覧板等 |
| 3 | テレビ、ラジオ、新聞等のメディア | 6 | その他 () |
| | | 7 | わからない |

問14 両大会を盛り上げていくためには、選手や競技役員以外にも1人でも多くの方のご参加、ご協力が必要です。あなたは、選手や競技役員以外でどのような形でなら参加、協力できると思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | | | |
|---|-----------------------------------|---|-----------------------------|
| 1 | 運営に関するボランティア
(受付、案内、大会運営などを行う) | 5 | 環境美化活動
(競技場周辺の清掃活動などを行う) |
| 2 | 情報支援に関するボランティア
(手話や筆談などを行う) | 6 | 応援、観戦者 |
| 3 | いちご一会募金(募金や寄附を行う) | 7 | その他
() |
| 4 | いちご一会花育て隊
(地域の花壇などに植栽を行う) | 8 | 参加、協力できることはない |
| | | 9 | わからない |

【地域防災について】

問15 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | | | |
|---|---------------------|-----|------------------|
| 1 | 消火器の設置 | 8 | 感震ブレーカ(※)の設置・点検 |
| 2 | 火災警報器の設置 | 9 | 避難経路や避難場所、避難所の確認 |
| 3 | 家具の転倒防止対策 | 10 | 県や市などの防災メールへの登録 |
| 4 | ガラスの飛散防止対策 | 11 | 自宅付近の危険箇所の把握 |
| 5 | 飲料水や食料の備蓄 | 12 | その他 |
| 6 | 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備 | () | |
| 7 | 非常持ち出し用品の衣類や毛布などの準備 | 13 | 特に何もしていない |
- ※ 感震ブレーカとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に、配線用ブレーカ又は漏電ブレーカなどを遮断する器具をいいます。

問16 あなたは、災害の際に必要な情報について、どのようなことを知っていますか。

次の中からいくつでも選んでください。

- 1 自宅近くの避難所と安全な避難経路
- 2 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたときに取るべき行動
- 3 自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか
- 4 自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか
- 5 災害用伝言ダイヤルの番号や使い方
- 6 特になし

問17 あなたは、県や市町、自治会、企業などが行っている防災訓練に参加したことがありますか。

また、今後参加したいと思いませんか。次の中から1つ選んでください。

- 1 参加したことがあります、また参加したい
- 2 参加したことはあるが、また参加したいとは思わない
- 3 参加したことは無いが、機会があれば今後参加したい
- 4 参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない

〔青少年の健全育成について〕

問18 あなたは、「家庭の日（※1）」（毎月第3日曜日）及び「とちぎの子ども育成憲章（※2）」を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※1 「家庭の日」とは、家庭は、子どもが基本的な生活習慣や規範意識の基礎を身につけ、人格を形成する上で大きな役割を担う大切な場であることから、家族のふれあいづくりのきっかけとするために、県が定めたものです。

※2 「とちぎの子ども育成憲章」とは、子どもたちが夢や希望を持ち、心豊かでたくましく成長するために親や周りの大人がより積極的に子どもの成長に関わるための“基本理念”や“行動指針”として平成22年2月に県が制定したものです。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 どちらも知っている | 3 「とちぎの子ども育成憲章」だけ知っている |
| 2 「家庭の日」だけ知っている | 4 どちらも知らない |

問19 あなたは、青少年(18歳未満)が携帯電話(スマートフォン)を介したトラブルに巻き込まれないようにするため、特にどのような取組が必要であると思いませんか。次の中から1つ選んでください。

- 1 フィルタリング（※1）、ペアレンタルコントロール（※2）の利用促進に関する取組
- 2 保護者や青少年に対する啓発、講座の実施
- 3 携帯電話等販売店による販売時の説明の徹底
- 4 法律や条例の改正による厳しい規制
- 5 青少年に携帯電話等を持たせない運動の推進
- 6 その他（ ）

※1 フィルタリングとは、有害情報などが含まれる特定のサイトへのアクセスを制限するサービスのことをいいます。

※2 ペアレンタルコントロールとは、保護者が子どものスマートフォンなどの利用を制限する設定を行うことをいいます。

[男女平等意識について]

問20 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。
次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 男性の方が優遇されている | 4 どちらかといえば、女性の方が優遇されて |
| 2 どちらかといえば、男性の方が優遇されて | いる |
| いる | 5 女性の方が優遇されている |
| 3 平等になっている | 6 わからない |

問21 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。
次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 男性の方が優遇されている | 4 どちらかといえば、女性の方が優遇されて |
| 2 どちらかといえば、男性の方が優遇されて | いる |
| いる | 5 女性の方が優遇されている |
| 3 平等になっている | 6 わからない |

問22 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。
次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 賛成 | 4 反対 |
| 2 どちらかといえば賛成 | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば反対 | |

[とちぎの元気な森づくり県民税について]

問23 森林には、様々な働きがあります。あなたが特に重要だと考える森林の働きはどれですか。
次の中から3つまで選んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き |
| 2 水資源を蓄える働き |
| 3 洪水などの災害を防止する働き |
| 4 野生動植物の生息の場としての働き |
| 5 空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなど環境を快適に保つ働き |
| 6 自然に親しみ、癒やしや安らぎの場としての働き |
| 7 自然と人との関わりを学ぶなどの教育の場としての働き |
| 8 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き |
| 9 その他 () |
| 10 わからない |

問24 栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要と思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、獣害対策などへの支援をすること
- 2 手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと
- 3 通学路等の見通しを良くしたり、野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること
- 4 里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること
- 5 所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること
- 6 森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること
- 7 わからない

【とちぎのがん対策等について】

問25 がんについてあなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 日本では、死亡者の約3人に1人が、がんで死亡している
- 2 日本では、約2人に1人が、将来、がんにかかると推測されている
- 3 子宮頸がんのように若い世代で増えているがんがある
- 4 がんの治療方法には、大きく手術療法、薬物療法、放射線療法がある
- 5 がん全体の5年生存率は50%を超えている
- 6 たばこは、様々ながんの原因の中で、予防可能な最大の原因である
- 7 1～6のいずれも知らない

問26 がん検診の受診率は、40～50%程度となっていますが、欧米諸国と比較すると依然として低い状況です。あなたは、多くの方ががん検診を受けないのはなぜだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 がん検診そのものを知らないから | 7 検査に伴う苦痛に不安があるから |
| 2 うっかり受診するのを忘れてしまっているから | 8 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 3 受診する時間がないから | 9 がんであると分かるのが怖いから |
| 4 受診する場所が不便だから | 10 受診しても、見落としがあると思っているから |
| 5 費用がかかり経済的にも負担になるから | 11 その他（ ） |
| 6 健康状態に自信があり、必要性を感じないから | 12 わからない |

問27 現在の日本の社会では、がんの治療や検査のために2週間に1度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |

-----> 問27-1にお答えください

(問27で選択肢「3」、「4」を選んだ方のみお答えください)

問27-1 がんの治療や検査のために2週間に1度程度病院に通う必要がある場合、働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 職場で代わりに仕事をする人がいない、又は、いても仕事を頼みにくいから |
| 2 職場が休むことを許してくれるかどうかわからないから |
| 3 仕事を休むと職場での評価が下がるから |
| 4 仕事を休むと収入が減ってしまうから |
| 5 がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから |
| 6 がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから |
| 7 その他 () |
| 8 特にない |
| 9 わからない |

[食の安全・安心]

問28 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 大いに感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 多少は感じている | 4 全く感じていない |

(問28で選択肢「1」、「2」を選んだ方のみお答えください)

→ 問28-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。次の中から4つまで選んでください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 残留農薬 | 10 重金属 (カドミウム・水銀など) |
| 2 食品添加物 | 11 食中毒 |
| 3 環境ホルモン (内分泌かく乱物質) | 12 いわゆる「健康食品」 |
| 4 遺伝子組換え食品 | 13 原産地 |
| 5 BSE (牛海綿状脳症) | 14 輸入食品 |
| 6 高病原性鳥インフルエンザ | 15 賞味期限・消費期限 |
| 7 体細胞クローン牛・豚 | 16 放射性物質 |
| 8 食物アレルギー | 17 その他 |
| 9 家畜の医薬品 | () |

[食品ロスの削減について]

問29 あなたは、「食品ロス」(※)の問題を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 食品ロスとは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものをいいます。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 あまり知らない |
| 2 ある程度知っている | 4 まったく知らない |

問30 あなたが知っている、食品ロスを発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 料理を作り過ぎない
- 2 残さずに食べる
- 3 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）
- 4 冷凍保存を活用する
- 5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 6 「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する
- 8 飲食店等で注文し過ぎない
- 9 期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する
- 10 その他（)
- 11 知っている取組はない

問31 あなたが現在行っている、食品ロスを発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 料理を作り過ぎない
- 2 残さずに食べる
- 3 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）
- 4 冷凍保存を活用する
- 5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 6 「賞味期限」を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する
- 8 飲食店等で注文し過ぎない
- 9 期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する
- 10 その他（)
- 11 取り組んでいることはない

【食に関する意識と実践について】

問32 あなたは、食事の際「いただきます」を言いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 必ず言う | 3 言わないことが多い |
| 2 言うことが多い | 4 言わない |

問33 あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなどの農業体験をしたことがありますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 今までに複数回体験したことがある | 3 1回も体験したことがない |
| 2 今までに1回体験したことがある | |

〔農村地域における協働活動について〕

問34 あなたは、農村地域における協働活動（※）に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いませんか。次の中から1つ選んでください。

※ 農村地域における協働活動とは、農村地域と都市住民が連携し、援農（田畑の草刈りや水路の清掃、獣害を防止するための柵の設置等）や地域活動（生き物観察や動植物の保護などの環境保全、お祭りなど地域行事や伝統行事の継承）等に参加することをいいます。

- | |
|----------------------------|
| 1 参加したことがあります、今後も参加したい |
| 2 参加したことはないが、今後は参加してみたい |
| 3 参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない |
| 4 参加したことはなく、今後も参加するつもりはない |

（問34で選択肢「1」、「2」を選んだ方のみお答えください）

→ 問34-1 あなたが、今後参加してみたい協働活動は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1 田畑の草刈りや水路の清掃 | 5 お祭りなど地域行事や伝統行事の継承 |
| 2 獣害を防止するための柵の設置 | 6 郷土料理や伝統食づくりなどの継承 |
| 3 農作物の植付けや収穫など農作業の手伝い | 7 地域活動に運営スタッフとして参加
(書類作成や会計事務など) |
| 4 生き物観察や動植物の保護などの環境
保全活動 | 8 その他 () |

問35 あなたは、開催日時や場所、活動内容等の基本情報のほかに、どのような情報があると、参加しやすい、参加したくなると思いませんか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1 活動の意義や必要性、これまでの取組 | 5 身体的な負担の程度 |
| 2 地域の歴史・文化・地理などの紹介 | 6 参加報酬（金銭、物品、食事等）の有無 |
| 3 参加する人の情報（どのような人が参加するか） | 7 レクリエーションや交流会等の有無 |
| 4 近くのおすすめスポット
(観光、飲食、レジャーなど) | 8 子ども参加の可否 |
| | 9 トイレやシャワー、更衣室等の状況 |
| | 10 その他 () |

〔新技術を活用した公共交通について〕

問36 あなたは日常生活において、どのような交通手段を利用していますか。次の中から1つ選んでください。（複数ある場合は最も利用回数が多いものを選んでください。）

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 マイカーを自分で運転 | 5 タクシー |
| 2 家族や知人の自家用車に同乗や送迎 | 6 自転車 |
| 3 鉄道、路線バス | 7 徒歩 |
| 4 デマンド交通（※） | 8 その他 () |

※ デマンド交通とは、地域の移動手段として市町村が運行している予約型の公共交通のことをいいます。

問37 少子高齢化が進行する中、県では公共交通の確保・充実にに向けた取組を進めています。

あなたは、路線バスのどのような点に不満を感じていますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 運行本数が少ない
- 2 朝早くや夜遅くの運行がない
- 3 運行ダイヤ等に問題があり、乗り継ぎがしにくい
- 4 時刻表のとおり運行していない
- 5 料金が高い
- 6 車内が混雑している
- 7 バス停が家から遠い
- 8 バス停周辺の駐車場・駐輪場が不足している
- 9 ノンステップバス（※）の運行が少ない
- 10 交通系 I C カード（Suica、PASMO等）が使えない
- 11 インターネットの経路検索サービス（Google等）で運行経路、バス停の位置、発着時刻、運行状況（遅延等）等の情報が出てこない
- 12 バス停に上屋やベンチがなく、バスを待つ環境が快適ではない
- 13 バス停の近くに待ち時間を有効活用できるような商業施設等がない
- 14 その他（)

※ ノンステップバスとは、バスの床面を低くして乗降ステップをなくし、バリアフリー化されたバスのことをいいます。

問38 現在、運転手不足などの理由により、バス路線の維持が困難な状況となっており、解決策の1つとして、路線バスに自動運転システムを導入する取組が進められています。

あなたは、自身が日常生活において路線バスを利用するとなった場合、自動運転システムが導入されたバスを利用したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 利用したい
- 2 どちらかといえば利用したい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば利用したくない
- 5 利用したくない

問39 あなたは、路線バスに自動運転システムを導入することについて不安に思うことはありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 自動運転システムの完成度（まだ実用化されるレベルではない）
- 2 自動運転システムの誤作動による事故の発生
- 3 車内の防犯対策
- 4 事故が発生した際に対応する運転手がない
- 5 バスの行き先など不明な点を車内で質問できない
- 6 漠然とした不安がある、イメージが湧かない
- 7 その他（)
- 8 不安に思うことはない

[生涯学習について]

問40 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

※ 生涯学習とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校での学習や、公民館などにおける講座等の学習はもとより、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などの様々な学習活動のことをいいます。

- 1 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）
 - 2 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）
 - 3 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）
 - 4 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
 - 5 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
 - 6 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
 - 7 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
 - 8 情報端末（コンピューターやタブレット端末など）やインターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページの作り方など）
 - 9 ボランティア活動のために必要な知識・技能
 - 10 自然体験や生活体験などの体験活動
 - 11 学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習
 - 12 その他（)
- 13 生涯学習をこの1年くらいしていない
- 14 わからない

（問40で選択肢「1」～「12」を選んだ方のみお答えください）

→ 問40-1 あなたが、生涯学習を行った理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 趣味又は教養を深めるため | 6 地域活動に生かすため |
| 2 仲間づくりになるため | 7 日常生活に生かすため |
| 3 生きがいにつながるため | 8 余暇を充実させるため |
| 4 健康・体力づくりのため | 9 その他（) |
| 5 仕事のスキルアップのため | 10 特に理由はない |

（問40で選択肢「1」～「12」を選んだ方のみお答えください）

→ 問40-2 あなたは、この1年くらいの間に、どのような場所や形態で生涯学習をしましたか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室
- 2 カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育
- 3 学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の講座や教室
- 4 職場の教育、研修
- 5 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動
- 6 図書館、博物館、美術館
- 7 テレビやラジオ
- 8 インターネット
- 9 自宅での学習活動（書籍など）
- 10 その他（)
- 11 わからない

【犯罪と治安対策について】

問41 県内の治安は、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1 かなり良くなった | 3 変わらない | 5 かなり悪くなった |
| 2 少し良くなった | 4 少し悪くなった | 6 わからない |

問42 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 子どもに対する犯罪 | 11 家に侵入する強盗、窃盗犯罪 |
| 2 女性に対する犯罪 | 12 屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪 |
| 3 高齢者に対する犯罪 | 13 薬物（危険ドラッグも含めて）乱用事件 |
| 4 若者に対する犯罪 | 14 インターネット利用犯罪 |
| 5 オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件 | 15 悪質商法による犯罪 |
| 6 金融機関、コンビニなどに対する強盗事件 | 16 食の安全・安心に関する犯罪 |
| 7 少年による凶悪、粗暴事件 | 17 不法投棄等の環境に関する犯罪 |
| 8 外国人による犯罪 | 18 その他 |
| 9 暴力団による犯罪 | () |
| 10 暴走族による犯罪 | 19 特にない |

問43 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 年齢や対象に応じた交通安全教育 |
| 2 家庭や職場で取り組む交通事故防止活動 |
| 3 地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供 |
| 4 飲酒運転や無免許運転などの悪質・危険な違反の取締り |
| 5 自転車利用者に対する交通安全指導 |
| 6 交通事故の発生実態に応じた取締り |
| 7 地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し |
| 8 生活道路における速度抑制対策 |
| 9 運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化 |
| 10 自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の普及促進 |
| 11 その他 () |
| 12 わからない |

【あなたご自身やご家族について】

最後に、お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身やご家族についてお答えください。

F 1 あなたの性別は。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの年齢は、次の中のどれに当てはまりますか。

1 18歳～19歳	3 30歳～39歳	5 50歳～59歳	7 65歳～69歳
2 20歳～29歳	4 40歳～49歳	6 60歳～64歳	8 70歳以上

F 3 あなたの職業は、次の中のどれに当てはまりますか。

(自営・家族従業)		(勤めている)		(無 職)	
1 農林漁業	2 商工サービス業・自由業	3 管理職・事務職 ・専門技術職	4 労務職	5 家事	6 その他の無職 ・学生

F 4 あなたの家計を主に支えているのはあなたですか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

(F 4で選択肢「2」を選んだ方のみお答えください)

→ F 4-1 あなたの家計を主に支えている方のご職業は、次の中のどれに当てはまりますか。

(自営・家族従業)		(勤めている)		(無 職)
1 農林漁業	2 商工サービス業・自由業	3 管理職・事務職・ 専門技術職	4 労務職	5 その他の無職

F 5 あなたのご家族には、65歳以上の方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めてお答えください。

1 いる	2 いない
------	-------

F 6 あなたは、栃木県でお生まれになりましたか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

F7 あなたは、栃木県に通算して何年お住まいですか。

1 1年未満	4 5年～9年
2 1年～2年	5 10年～19年
3 3年～4年	6 20年以上

F8 現在、あなたのご住居は、次の中のどれに当たりますか。

1 持家の一戸建	5 民間の賃貸アパート・マンション
2 持家の集合住宅（分譲マンションなど）	6 社宅・官舎
3 借家の一戸建	7 その他
4 公社・公営の賃貸住宅	()

F9 あなたがお住まいの周囲の環境は、次の中のどれに当たりますか。

1 農山村	3 商店街
2 住宅地	4 その他 ()

F10 あなたがお住まいの地域は、次の中のどれに当たりますか。

1 県北地域（日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町）
2 県央地域（宇都宮市、鹿沼市、真岡市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町）
3 県南地域（足利市、栃木市、佐野市、小山市、下野市、野木町）

F11 あなたのご住所は、次の中のどれに当たりますか。

1 宇都宮市	2 宇都宮市以外の市	3 町
--------	------------	-----

◎長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。お手数ですが、添付の返信用封筒（切手不要）に入れて、7月7日（火）までにご投函ください。